



みなみながさき

豊島区立南長崎幼稚園
園長 高橋 順子

幼児期の学び ～地域とのつながりから～

園長 高橋 順子

まだまだ、寒い日が続いていますが、日差しは明るく、園庭の梅も咲き始めました。確実に春が近づいていることを感じます。園児たちは、様々な教育活動を通して心も体も成長し、進級・進学への期待で胸を膨らませています。

2月も様々な教育活動を経験しました。2月1日(土)には、「こども会」で、衣装や大道具を作ったり、演技したりして、友達と力を合わせて表現をすることを楽しみました。保護者や地域の温かく見守っていただきました。2月7日(金)と12日(水)には、昭和レトロ館にいきました。「あの頃の給食とデパートでお子様ランチ」の企画展にいき、昔の給食やデパートの食堂の食事をみたり、切符をもらって昔の遊具に乗ったりすることを楽しみました。企画も素晴らしいのですが、公益財団法人としま未来文化財団ミュージアム運営課長 奈良宏二様、トキワ荘通り昭和レトロ館の職員である村松佑香様には、11月のSDGs フェスティバルに引き続き、園児が楽しめる内容や方法を本園職員とともに考えてくださいました。2月14日(金)には、「あそびうたステージ」を本園ホールでおこないました。近隣の保育園の園児さん、保護者の方、椎名町小学校の校長先生にも参加していただき、100人近くが集まり歌やリズムを一緒に楽しみました。2月17日(月)には、区民ひろば椎名町でおこなわれた「椎小こどもアート展」に出品、作品鑑賞をしました。地域の方から「上手にできているね」とたくさんのお褒めの言葉もいただきました。2月19日(水)には、椎名町小学校との交流に5歳児年長児さくら組が参加し、ますます、小学校生活への期待をいなく機会となりました。

本園は、地域の人、施設ともに、地域資源に恵まれた環境にあります。園内の遊びや生活の充実はもちろんのこと、地域での経験が幼児期の学びを広げ、深まると私は日頃から感じています。幼児期は、まだ、自分では遠くに出かけることができません。ですから、幼児が主体的に取り組める地域とのつながりは、幼児期の学びにより影響を及ぼしていると考えます。世界の幼児教育では、「Starting Strong 人生の始まりこそ力強く」と言われています。一人一人の幼児が地域とつながり、力強く歩んでいってほしいと思います。今年1年間、本園を温かく、熱く支えてくださりありがとうございました。来年度も、園児たちへの応援、励ましをよろしくお願いいたします。

3月の指導のねらい

- 4歳児
 - ・進級に期待や喜びを感じ、自信をもって活動に取り組む。
 - ・自分の思いや考えを出したり、友達と伝え合ったりしながら遊ぶ楽しさを味わう。
 - ・生活に必要なことが分かり、自分たちで進めていこうとする。
- 5歳児
 - ・友達とのつながりを感じながら、遊びや生活を進めていく充実感を味わう。
 - ・自分自身の成長を感じながら就学への期待をふくらませ、自信をもって修了に向けた活動に取り組んだり、お世話になった人への感謝の気持ちを伝えたりして、修了への喜びを感じる。